



今日の一言

7. 1. 16 校長 渕上 卓也



寒かったけれど、温かくなった話



先週末から連休にかけての寒波にはまいりました。山の上にある渕上家は、写真のような状況でした。

とくに心配だったのが、先週金曜日の登校時ですね。学校周辺の積雪はそれほどまではなかったのですが、路面凍結がいたるところで見られました。寒い中、子どもさんの登校に付き添っていただいた保護者の皆様には感謝です。

渕上は、その日の朝、娘を時津の職場まで送り、大園小へ向かいました。朝早い時間帯だったのですが、事故や立ち往生で道路は大渋滞。Uターンしたり裏道を通ったりして、大園小に到着したのが、いつもなら立哨を開始している7時30分頃でした。既に登校していた子どもたちから、「今日は、遅かったね。」「道路が混んでたんでしょ。」「寝坊しちゃだめだよ。(決して寝坊ではありません^^;)」・・・色々な言葉をもらいながら、急いで立哨へ向かいました。

極寒で、道路はツルツル。正直寒かった～！！「ゆっくりおいでよ！」「走らないでね！」「横断歩道の白いところが滑りやすいから気を付けて！」いつものあいさつと併せて、注意喚起の言葉掛けもしながら、子どもたちはもちろんのこと、通られる地域住民の皆様も微力ながら見守っておりました。

そんな中、寒さに凍りついている渕上の様子に気付いてくれたのでしょうか、一人の男の子が、「校長先生、おはようございます。寒い中、見守りありがとうございます。」と言ってくれたのです。いや～、この一言は嬉しかったですね。こんな言葉掛けができる大園っ子に育ってくれていることに感動！！言葉の力ってすごいと、身をもって実感しました。

凍り付いた体が、心からだんだん溶け出していた、「寒かったけれど、温かくなった話」でした。



<今日の一句>

カイロより

言葉の力で

温まろう

卓也